

水道・下水道のはじまりはいつかな？



資料提供: PIXTA



今でも使われている ローマ水道

紀元前 753年にイタリア半島にできた古代ローマは、地中海ぞいの地域を支配する大きな帝国になりました。各地の都市で増えつづける人たちの水不足をおぎなうためにつくられたのがローマ水道で、11の水道が建設されました。山の上の水源から水をとり、ゆるやかな傾斜の管を通して都市へ水を送りました。その傾斜の角度を保つために建てられたのが、上の写真の「水道橋」です。



下水処理設備があった モヘンジョダロ

インダス文明の都市モヘンジョダロは、紀元前 2500～1800年ごろにさかえました。そこでは今、から5000年以上前に下水道が完備されていたのです。各家の風呂場やトイレなどからの排水が下水道（写真）に流され、とちゅうの「ちんでん池」には、よごれたどろなど（汚泥）を分離させる、「下水処理設備」もついていたといいます。紀元前 4000年にはメソポタミア文明で下水道がつけられましたが、「下水処理」は行われていなかったようです。

